

4-2 「セカンドキャリア」の活用イメージに関するコメント

- ・有資格者や経験者は、更に経験を積み重ね、人柄や実績を考慮し適所へ配置する。すぐに管理職等への配置は組織のバランスを考えると望ましくない。
- ・未経験者や転職者でも、人柄を重視し、育成と資格取得のバックアップを行う。
- ・前職の経験を活かし、現場の管理者として若手の指導・育成を期待したい。
- ・即戦力、技術資格の活用
- ・製造部門における監督職(工場長クラス)
- ・定年退職してからの就職のイメージが強いが、転職者、子育てが落ち着いてからの就職者も受け入れている。終身雇用が崩れつつある現在、採用面接を受ける年齢層の多様化、過去の実績が様々で、適正を見極めるむずかしさはある。
- ・個人差が大きいので、セカンドキャリアか否かはそれほど重要ではない。
- ・同業種からは、その専門的な分野の知識を活かしてもらい、場合によっては指導者として受け入れる。
- ・弊社でご尽力くださっていた方が、定年後も契約社員として残り活躍してくださっています。また他社で働いていて定年退職をした後、弊社でご活躍くださったりいろいろなカタチがあります。
- ・セカンドキャリアの場合やはり経験年数からすると、若年層への教育であったり、毎日ではありませんが、工事の急所の時など、現場へ赴いていただき指揮・監督をしていただいたり、心強い部分があると思います。ですが弊社の場合は職人職なので、今後企業が発展していくためには若年層を育てていきたいと考えているため、セカンドキャリアは同業の職種の仕事がされていた方でないといけないのが現実です。
- ・契約社員として、ご本人が働きやすいような形態(パートタイム・時短)で、人脈・ノウハウを活かして正社員をサポートいただく。
- ・既に知識見識が備わっているので社員教育に係る時間が削減でき、特に同業であれば、即戦力となる。
- ・他社との比較を通して自社に感じる部分もぜひ参考にしたい。
- ・他業種で得た経験、ノウハウを生かして頂き活躍して頂けると思います。また、一般常識や辛抱する事などは今までの経験があるので、新卒者よりは職場になじむのが早いと思われます。当社では2人で仕事をする機会がほとんどなので、現場で技術を教わる事も出来ますし、また経験を積む事が出来ます。単純作業においては、健康で体力に自信のある方はすぐにお力を発揮できる可能性があります。いずれにしてもやる気のある方なら必ず成功出来ると思います。
- ・自分の体験や考えを話す、パーソナリティという職業では過去の経験はとても役に立つと考えます。
- ・資格保持者が対象
- ・実績を持っていると思うので、それを活かして活躍してもらえそう。
- ・後継者不足の解消、新規事業への展開など
- ・経験と実力
- ・高年齢
- ・自動化装置の作成及びメンテ等
- ・即戦力、新風
- ・製造スタッフ、人事総務経理スタッフ
- ・専門知識要した技術経験者